



スーパー耐久シリーズ2011 第3戦

「スーパー耐久 & F3レース」

開催日：2011年8月27日・28日

コース：岡山国際サーキット

Wether/Condition：(予選)Rain/WET

Wether/Condition：(決勝)Dry/Fine

チーム：吉田山工房N京都Vitz

ドライバー：山口コーイチ／樺田祐司／まさやん

来場者数：6750人

スーパー耐久シリーズ第3戦が、岡山国際サーキットを舞台に開催されました。8月26日(金)練習走行、27日(土)予選、28日(日)決勝と2DAYによるレースとなりました。吉田山工房N京都 Vitz より参戦のドライバーは前回の岩谷選手に変わりAドライバー山口選手・Bドライバー樺田選手、そして新たにCドライバーにまさやん選手を迎えた新体制となりエントリーを致しました。

今回のST-5クラスの総エントリー台数は6台と前回富士戦よりエントリーが1台増えた形となりました。富士の際に堂々デビュー初戦を3位表彰台を手にした我がチーム。全員ネットカップヴィッツ関西シリーズに参戦しているドライバーという事もあり、岡山国際をフィールドとしたレースにいやがおうにも再度表彰台への期待が高まります。チームとしても非常に楽しみなレースとなりました。



■ 練習走行 8月27日

スポット参戦にて55号車 吉田山工房N京都Vitzはデビュー2戦目を岡山国際サーキットで迎えました。練習走行初日。マシンの調子も前回より、新たに耐久仕様の要素が強まっております。

練習走行は3本。それぞれのドライバーがそれぞれの課題をもち練習走行を終えました。

特にまさやん選手はスーパー耐久初参戦との事で感触を確かめるべく入念な打ち合わせが行われました。

マシントラブルは特になく練習走行日を終えました。

この度の不安要素は『天気』であると、どのチームも感じており天気に対するトラブルシューティングおよびタイヤの作戦等を練り予選に備えました。

■予選 8月28日



ST-5クラスは出走台数6台。ライトウエイト・チューニング具合がほぼ同等のこのクラスではドライバーのスキルが問われます。青空の中に厚い雲かかっており、天気心配はやはり思った通りに不安を的中させます。雲はあっという間に灰色に変わり、予選開始直前に大粒の雨を降らせました。ゲリラ豪雨です。路面コンディションはドライからあっという間にヘビーウェットへ。Aドライバー山口選手より公式予選走行開始。いつ止むか分からないゲリラ豪雨。止めばあっという間にドライコンディションへ変わるピーキーな展開へ。チームのタイヤ選択は『スリック』でした。

予選通過基準タイム2' 20' 700に対して**2' 11' 056**と通過基準で無事終了しました。

続いてBドライバー樺田選手出走。予選通過基準タイム2'13' 054に対し**2'06.516**で予選を通過。

Aドライバー・Bドライバーの走行枠に至っては降雨に伴うコースコンディションの急変により中断を余儀なくされアタック時間が短くなったのが悔やまれます。Cドライバーまさやん選手出走時も天候は大差なく雨が降り続く。しかしながら初参戦とは思われない落ち着いた走りにて、結果**2'16.996**と2'21' 625に対して無事予選を通過しました。よってST-5クラス走行台数6台中5位。

決勝出走台数33台中32番グリッドからの出走となりました。

◆予選総合タイム順位結果

- 1: CarNO.76 S.B.岡山かばくろ豚蒲Vitz TIME:4'07.719
- 2: CarNO.19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC TIME:4'08.640
- 3: CarNO.36 エンドレス アドバン トラストヴィッツ TIME:4'12.608

5: CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz TIME:4'17.572

ドライバー:山口 コーイチ TIME:2'11.056

樺田 祐司 TIME:2'13.934

まさやん TIME:2'16.996



■ 決勝 8月29日

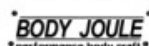


予選日とは打って変わっての晴天に恵まれた決勝日。しかし急な天候の変化を加味し、状況に合わせて使用できるようレインタイヤが用意されました。雨さえ降らなければタイヤは無交換での作戦を決行。
 朝の練習走行、山口選手よりスタート。しかし先日のベストラップから考えると、ドライコンディションながらタイムが上がらず。樺田選手がピットに控え、車両ピットイン。樺田選手にドライバーチェンジするもエンジンがかからず。エンジンシステムのトラブルと判断し、練習走行を諦めメカニックによるメンテナンスが開始されました。天候は終始晴れ。原因不明のエンジントラブルに対応しつつ、決勝開始時刻は刻一刻と迫り、スタッフにも焦りの色が見えてきます。
 決勝までの猶予は約1時間30分。
 しかし、原因を究明する事は不可能となり最後まであきらめずトライしましたが、無常にも決勝レースが始まり、非常に悔しい形でレースを終えました。
 今後、この課題をクリアし次回鈴鹿戦に備える形となりました。
 55号車を応援頂きました皆様。リタイヤというご報告になりました事を改めてお詫び申し上げます。

- 1:CarNO.36 エンドレス アドバン トラストVitz 89LAP 3h00'45.361 BEST TIME: 1'56.711
- 2:CarNO.36 ミッドランド・TSK・Vitz 89LAP 3h00'45.361 BEST TIME: 1'56.048
- 3:CarNO.76 S.B.岡山かばくろ豚蒲Vitz 88LAP 3h02'11.534 BEST TIME: 1'55.604

6:CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz

リタイヤ



■ レース後コメント

◆ 星名 功一代表

いつも AS Racing を応援頂きましてありがとうございます。#55号車 “吉田山工房 ネットヨタ京都 Vitz” は、デビュー戦から引き続き “山口選手”・“樺田選手”に加えて “まさやん選手” と “ネット カップヴィッツレース” でレース経験を積んだ “Vitz 使い” 3名の布陣で挑みました。“Vitz使い”だけでなく、ホームサーキットですから気合い十分と いったところでしょうか!? 予選日より豪雨のよる悪天候でしたが、今回 #505号車 “KYOSHO アリスモータース EVO X” の欠場によりココ岡山国際 サーキットからレース人生をスタートした “田ヶ原選手” がアドバイスもあり、順調にラップを重ねることができました。しかし、決勝当日に突然のエンジン不調により1ラップをするこ となくリタイアすることとなりました。前戦以上に上位を狙える要素が多いレースだっただけに悔しさが残る レースウィークでしたし、応援して頂いた方にも残念な報告となってし まい申し訳なく思っています。次戦鈴鹿はチーム全体が今回の悔しさをバネに本領を発揮してくれると 信じています。引き続きの応援をどうぞ宜しくお願い致します。

◆ アドバイザー田ヶ原 章蔵

今回はドライバー全員がヴィッツレースで走っている得意コースということでかなり気合を入れて車も仕上げて来ましたが・・・残念ながら・・・悔しい！！の一言です。応援頂いたすべての関係者様にお礼も申し上げます。

◆ 山口 コーイチ選手

始めに、応援してくださった皆様、スポンサー様、チームスタッフの皆様ありがとうございました。そして、申し訳ございませんでした。今回のレースは、走り慣れた岡山国際サーキット。又、シェイクダウンでも好感触をつかんでいたサーキットで上位を狙えるはずだったので今回の結果は非常に残念です。しかも、僕が乗っていたフリー走行での異常発覚。責任も感じています。しかし、凹んでばかりでは進歩しませんので次戦鈴鹿サーキットに向けて自分に出来ることを精一杯やっ て行こうと思います。

◆ 樺田 祐司選手

今回も吉田山工房ネットヨタ京都 Vitz を応援してくださった皆様、関係者各位様ありがとうございました。デビュー2戦目となりました、スーパー耐久第3戦岡山でしたが・・・決勝1周を走ったところで、エンジントラブルのためリタイアとなっ てしまいました。前戦富士のデビューレースではかなりの手ごたえを感じ、この岡山でも表彰台を！と、意気込んでいただけに・・・ また、僕自身の予選アタックでは序盤にコースアウトし、タイムを出せずじまいで終わってしまったりと、非常に残念な結果となり大変悔しく思っています。次戦の鈴鹿に向けてマシンの熟成も進むでしょうから応援どうぞよろしくお願い致します。

◆ まさやん選手

自分自身にとってはいくらレース経験のあるサーキットとは言え、初めての 카테고리、初めてのクルマ、初めてのタイヤ。。。まさしくぶっつけ本番でした！さらに前戦富士で好調をだったこともあり、今回、C ドライバーとしてということではありましたが、乗るまでは本当に緊張しました。実際顔色が悪かったそうです！！(+o+)でも、そんな僕をチームみんなでその緊張をほぐしてくれました。そんな暖かい支えのお陰もあり、金曜、土曜と徐々に慣れていくことが出来ました。今回のリタイアは、本当に残念ですが、何と言っても、スーパー耐久という長年の夢であった全日本格式のレースへデビュー出来たことが僕にとっては大きなワンステップを踏み出せたわけであり、本当に嬉しく思います。今回の参戦を生かして、次は是非完走を目指して頑張りたいと思います！機会を与えてくださったチーム、関係者の皆様、ありがとうございました。次戦以降も 55 号車への応援をよろしくお願ひします！

吉田山工房 NetZ Kyoto AS Racing

